



きよさとっ子

「信」は一日にして成らず

校長 遠藤 哲也



5月9日（木）に、全校で学校田の田植えを行いました。ぬかるむ泥もなんのその。初めての経験となる1年生をいたわりながら、全校でてきぱきと稲を植えていきました。おかげで1時間足らずのうちに、今年の稲文字「信」が植え終わりました。

この田植えを含めた稲文字活動は、今年度で13回目を迎えました（下記「清里小学校の歴史①」参照）。5年生が中心となって、米を育てる過程を通して、食や文化、ふるさと清里について、地域の皆様とともに学習を進めます。当校の稲文字活動を支援いただいている武田様、保坂様はじめ地域の皆様に、改めて感謝申し上げます。

今年の稲文字に、5年生は次のような願いを込めました。

- 互いを「信」頼し合う学校にしたい。
- 地域の皆様から「信」用される学校でありたい。
- 清里の人々と「信」じ合って暮らしていきたい。



「信」清里小学校

‘SHIN’に加えるべき素敵な文字です。



米を育てるための多くの作業や苦労と同様に、様々な教育活動の中で、子どもたちは多くのことを学んでいきます。時には、大きな嵐や失敗が起きることもあるでしょう。

そんな時、私たち教職員は、子どもたちにたくさん教えることや成功させることを考えてしまいがちです。そのため、毎日の生活の中で「水や肥料のやり過ぎ」、すなわち教え過ぎてしまうときがあります。稲が水を求めてしっかりと根づくように、子どもたち自身で成長する力があると「信」じ、ときにはじっくりと見守ることも大切であることを、今年の稲文字から改めて学んだ気がしました。そして、この子どもたちを「信」じる積み重ねが、「信」清里小学校をつくることにつながるのではないのでしょうか。

今年の稲文字の願いを達成するためには、まさに『「信」は一日にして成らず』です。



令和に入ってから稲文字の変遷

創立20周年記念 清里小学校の歴史① ～稲文字活動の始まり～

「**を** 稲文字を作った記念に収穫祭」 稲文字（清里小学校）

稲文字は2002年清里区棚田で全国で初めて始まりました。その稲文字研究会の方々に指導を受け、清里小学校では2012年（平成24年）より学校田で稲文字が開始されました。機械化が進む中であえて手間暇かけて手作業で米作りをします。

2019.10.1 発行 星ふる清里会「清里カルタで見て歩こう!!清里探訪・今昔」

より一部抜粋



H24 稲文字活動初年度



4月、5月のトピック



4月18日 朝の読み聞かせ

毎週木曜日は、読書ボランティアの皆さんが様々な本を読んでいます。今年度も想像力や表現力を豊かにする素敵な時間が始まりました。



4月20日 春の奉仕作業

保護者の皆さんから協力いただき、畑の耕運やグラウンドの整備など、1時間で外回りの安心・安全な環境が整いました。ありがとうございました。



4月24日 1年生を迎える会

自己紹介や学校クイズ、インタビュー、プレゼント渡し、写真撮影を和気あいあいと行いました。みんなの笑顔が増え、とても和やかなひと時となりました。



4月24日 年度始めPTA

学習参観では、保護者の皆さんが見守る中、進級・入学した子どもたちが張り切って学んでいます。総会、学年懇談会では、今年度の方針を確認できました。



4月25日 交通安全教室

駐在官、安全指導員、ボランティアの皆さんから指導していただき、1・2年生は安全な歩行の仕方、3・4年生は正しい自転車の乗り方を学びました。



5月7日 「野菜の苗」購入

2年生とサポート学級の子どもたちが、事前に決めたマイ野菜の苗を買いに行ってきました。しっかりと畑に植え、水やりや観察など毎日張り切っています。



小中学校合同学校運営協議会を開催しました

5月9日(木) 中学校区学校運営協議会を行いました。委員の皆さんから熟議いただき、ふるさと清里の人・もの・ことなどの教育資源を有効に活用し、ふるさとを愛する子どもたちの育成を、学校、地域、家庭が一体となっていくことを確認することができました。

子育ての悩みを相談しませんか～1階視聴覚室へどうぞ～

木曜日 13:00～16:00 は、隔週で学校訪問カウンセラーの遠藤先生が来校し、児童、保護者へのカウンセリングや相談を行います。悩んでいることを抱え込まずに相談することで、解決への糸口が見えてきます。秘密は固く守られますので、安心しておいでください。ご希望の方は、担当の山岸養護教諭または学級担任に連絡(学校 528-4634)してください。



HP
随時
更新
中